

万国博覧会と人間の歴史

佐野真由子 (国際日本文化研究センター准教授) 編

2015年10月刊行予定

▶ A 5判・720頁／定価：本体 9,200円 (税別) ISBN978-4-7842-1819-6

万博から、人間の歴史が見える!

万国博覧会。それは、1851年のロンドンで始まり、今日まで連続と続いてきた。


1970年大阪万博が日本社会に一時代を画した例をひくまでもなく、近代以降の人間社会のあゆみを語る上で、万国博覧会は決して見過ごすことのできない対象である。多くの人びとを魅了する万博には厚い研究蓄積があるが、自国への関心の集中、現場の視点の欠如など、偏りもあった。本書は従来の研究の枠組みを超え、多様な領域の研究者のほか、万博をつくり、支える立場の政府関係者、業界関係者が集い、さらにアジア各国の研究者を迎えて、ともに議論を重ねた共同研究の成果である。

◎予定内容目次◎

はじめに一本書について—	(佐野真由子)	コンパニオンが女看守とよばれたころ —博覧会場における女性接遇員の成立と展開—	(井上章一)
I 博覧会の人			
万博の人、ラザフォード・オールコック —1851、1862、1878、1886—	(佐野真由子)	博覧と衆智—渡辺洪基と萬年会の目指したもの—	(瀧井一博)
岩倉使節団の見たウィーンとウィーン万博	(芳賀 徹)	万国博覧会を飾った日本の革と紙 —ジャポニズムを越えて—	(鵜飼敦子)
1878年パリ万国博覧会における前田正名の役割 —ジャポニズム流行の立役者—	(寺本敬子)	都市の電化と博覧会	(橋爪紳也)
「隠者の国」朝鮮士大夫のアメリカ文明見聞録 —出品事務大員鄭敬源と1893年シカゴ・コロンビア万国博覧会—	(ユク・ヨンス)	愛知万博前夜—博覧会の企画制作現場から—	(澤田裕二)
並河靖之と万国博覧会 —並河七宝と巴里庭をめぐる人びと—	(武藤夕佳里)	上海万博・麗水万博日本館から見た 日本の博覧会行政 (岩田 泰)	
II 博覧会の場所			
建築家劉既漂と中国における「新建築」の誕生 —パリ万博から西湖博覧会へ—	(青木信夫)	IV 博覧会の形成と展開	
万国博覧会と藤田綱治 —1900年パリ、1937年パリ、そして1940年東京—	(林 洋子)	近代パリ万博の軌跡 1855～1900 —その〈万有理念〉が顕すもの—	(市川文彦)
III 博覧会と仕事・社会			
資料から見るランカイ屋と装飾業の歴史	(石川敦子)	万国博覧会とオスマン帝国 (ジラルデッリ青木美由紀) —「美術」とオスマン宮廷の日本趣味受容—	
		オリエンタリズムとナショナリズム —中国の万国博覧会参加をめぐる権力の変容—	(徐 蘇斌)
		南洋勸業会をめぐる日中関係 —上海万博との対比から—	(武藤秀太郎)
		戦後日本が夢見た世界 —万国博美術展、原始美術、太陽の塔—	(川口幸也)
		都市化をテーマとした上海万博 —万博をめぐる中国の過去と未来—	(江原規由)
		中国における博覧会ブームの誕生	(曹 建南)
		おわりに／研究会の記録／執筆者紹介	

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	万国博覧会と人間の歴史		本体9,200円(税別)	ISBN978-4-7842-1819-6
お名前		tel		本書HPのQRコード 	
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	代引 (書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

近代日本〈陳列所〉研究

三宅拓也著

地方行政によって「物産陳列所」や「商品陳列所」などという名称を冠せられて建設された公共の陳列施設が、都市の農業・工業・商業を奨励する目的で各地に設置された経緯を検証し、制度・活動・建築を含めて都市との関わりに注目することで、明治から昭和戦前期の日本に普及した〈陳列所〉の実態を、豊富な図版とともに明らかにする。

▶A5判・640頁／本体7,800円(税別) ISBN978-4-7842-1788-5

応用美術思想導入の歴史

ウィーン博参同より意匠条例制定まで

天貝義教著

「美術を工業に利用すること、即ち実用と佳美を兼ねしむるに在り」と表現された応用美術。ウィーン万国博覧会参加から意匠条例が制定されるまで、応用美術思想がいかに学習され、明治期の美術・工業界において指導的役割を果たしていったかを明らかにする。

▶A5判・410頁／本体7,500円(税別) ISBN978-4-7842-1505-8

逆欠如の日本生活文化

日本にあるものは世界にあるか

園田英弘編著

西洋にあるものが日本にはない「欠如」という観点からではなく、出発点を日本において「日本にあるものは世界にあるか」という新たな方法論に基づく文化比較14篇。

▶A5判・404頁／本体3,800円(税別) ISBN4-7842-1248-5

ジャポニスム入門

ジャポニスム学会編

19世紀後半、西洋の芸術の諸分野にわたって与えた日本の影響=ジャポニスム。本書は、これまであまり紹介されなかった地域も含め各国別の個性的な展開をやさしく読み解き、さらに建築、音楽、写真、モードという絵画・工芸以外の分野におけるジャポニスムをも射程に入れ、ジャポニスムの全体像に迫る。ジャポニスム学会20周年記念出版。

▶A5判・292頁／本体2,800円(税別) ISBN4-7842-1053-9

アーツ・アンド・クラフツと日本

デザイン史フォーラム編／藤田治彦責任編集

19世紀後半から20世紀初頭にかけてイギリスで繰り広げられ、ヨーロッパ大陸で新様式を誘発しながら広がっていったアーツ・アンド・クラフツ運動と、日本との関わりをさまざまな視点から論じ、デザイン・工芸・美術・社会・産業・環境・生活などの立体的な関係を考察する一助とする。

▶A5判・306頁／本体2,900円(税別) ISBN4-7842-1207-8

※ドイツにおける〈日本=像〉

ユーゲントシュティールからバウハウスまで

クラウティア・テランク著／水藤龍彦・池田佑子訳
ドイツの美術・デザイン・建築と日本美術との関係、ひいては横断的な日本=像の変遷を提示する。裾野の広い日本=像の提示を可能にした彩色写真や、ヨハネス・イッテンにおける「山水画」「南画」の影響に関する考察などは特筆に値する。

▶A5判・312頁／本体3,800円(税別) ISBN4-7842-1194-2

※岩倉使節団の比較文化史的研究

芳賀徹編

比較文化史的視角から岩倉使節団を論じた共同研究。編者をはじめ、日米英の8名が日米英仏伊における使節団を論じる。

【執筆】芳賀徹／マリウス・ジャンセン／マリン・メイヨ／イアン・ニッシュ／松村剛／太田昭子／シドニー・ブラウン／泉三郎

▶A5判・358頁／本体6,500円(税別) ISBN4-7842-1145-4

※吉田光邦評論集 [全3巻]

吉田光邦著

おびただしい知識の集積の背後にある鋭い洞察力と、人間に対するあくなき好奇心から綴る芸術・文化・文明論。

【内容】第1巻 芸術の解析／第2巻 文化の手法／第3巻 文明の基軸

▶46判・平均350頁／各本体2,900円(税別)

日本庭園像の形成

片平幸著

「日本庭園」は西洋でどのように理解され、解釈されたのか、そして日本はそれに対してどのように反応したのか。19世紀末から20世紀初頭の欧米人の日本庭園論、それへの日本人の反応、という両者の「往還」を丁寧にたどり、1930年代に至って日本庭園の「独自性」が規定されていく過程を追う。

▶A5判・240頁／本体4,000円(税別) ISBN978-4-7842-1718-2

日本産業技術史事典

日本産業技術史学会編

明治維新以降、めざましい発展を遂げてきた近代化の歩みを支えた産業技術の変遷を跡づけ、日本の産業技術史を俯瞰する。23の大項目に分け、関連項目を344の小項目としてとりあげ、大項目には3ないし4頁の総説をおき、日本産業技術の流れを把握することができる「読む事典」。

▶B5判・550頁／本体12,000円(税別) ISBN978-4-7842-1345-0

文化の航跡 創造と伝播

京都ノートルダム女子大学大学院人間文化研究科人間文化専攻編

【内容】受胎告知函の身振りに関する一考察／芸術史としての自然科学概論／『源氏物語』にみる雅楽の展開／旅と日本人／シャイロックの虚実について／アラブ古典文学の口承文化／フランスの概念としての文化的多様性／数術術語「幾何」にみる日中語彙交流／「満州国」の美術展覧会／子どもたちへの読書支援 ほか

▶A5判・264頁／本体2,800円(税別) ISBN4-7842-1238-8

国際デザイン史 日本の意匠と東西交流

デザイン史フォーラム編

1999・2000年に開催された「国際デザイン史フォーラム」(大阪大学大学院文学研究科美学研究室主催)をもとに、デザイン史における日本と西洋諸国との交流を探る56篇を収める。豊富な挿図(モノクロ)約180点を掲載。

▶A5判・304頁／本体2,900円(税別) ISBN4-7842-1079-2

近代工芸運動とデザイン史

デザイン史フォーラム編／藤田治彦責任編集

「近代工芸運動」という視点を導入することにより、「近代デザイン史」という視点では抜け落ちている、各国における芸術分野での歴史・重要な動向を様々な点から解き明かす。

【内容】第1部 ヨーロッパと近代工芸運動／第2部 欧米の近代工芸運動とアジア

▶A5判・336頁／本体2,900円(税別) ISBN978-4-7842-1438-9

英国と日本 架橋の人々

サー・ヒュー・コータツツイ&ゴードン・ダニエルズ編著

大山瑞代訳／横山俊夫解説
日本協会百年の歴史と23人のエピソードを通して、日英文化交流史の足跡を辿る。巻末には、日本協会創立当初の会員名簿と戦前の紀要に掲載された論文の一覧を付す。

▶A5判・560頁／本体8,000円(税別) ISBN4-7842-0977-8

岡倉天心の比較文化史的研究

ボストンでの活動と芸術思想

清水恵美子著

著者がアメリカで行った文献資料調査により、発見した新出資料などを駆使し、同時代の文化的状況、美術、演劇、音楽の動向など複眼的な視座からのアプローチを通して、固定化され流布されている「岡倉天心」像を再検証する。

▶A5判・548頁／本体10,700円(税別) ISBN978-4-7842-1605-5

※吉田光邦 両洋の人 八十八人の追想文集

吉田光邦追想文集刊行会編

並外れた博覧強記ぶりと、多彩な人間関係で知られる故吉田光邦先生を偲び、交友のあった88名がそれぞれの想い出を綴った「歴史記録としての吉田光邦」。【内容】若き日／共同研究とその周辺／アーツ・クラフツ・インダストリー／流れはつきず

▶A5判・374頁／本体6,200円(税別) ISBN4-7842-0797-X

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。